

## 知床五湖地区における取組の進捗状況

## トピック

1. 知床五湖利用適正化計画が改定され、ヒグマ活動期における適正な範囲での利用者の増枠（ほぼ終日 10 分間隔でのツアー出発）、限定的な 2 ルート併用という新制度の運用が行われた。
2. ヒグマ活動期（5/10～7/31）におけるヒグマ出没回数は例年並みであり（遭遇回数は 15 回（前年 13 回）、うちツアー中止判断 3 回（前年 3 回））、期間中の地上遊歩道の立入者数は登録引率者を含め 11,749 名（前年比 14% 増、前々年比 36% 増）であった。
3. 植生保護期（8/1～早期閉園日 10/13）におけるヒグマ出没回数は例年並みであり（遭遇回数は 7 回（前年 6 回）、期間中の地上遊歩道の立入者数は 52,516 名（前年比 11% 減、前々年比 60% 増）であった。

## 1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・平成 26 年 4 月 18 日から 10 月 13 日において、知床五湖利用調整地区制度を運用した。
- ・植生保護期（開園日 4/18～5/9）における地上遊歩道の立入者数は 1,876 名（前年比 984% 増、前々年比 51% 減）であった。積雪に伴う一部区間の閉鎖が影響していると考えられる。
- ・ヒグマ活動期（5/10～7/31）における地上遊歩道の立入者数は登録引率者を含め 11,749 名（前年比 14% 増、前々年比 36% 増）であった。利用者の増枠や 2 ルート併用に加えて、制度の定着や窓口業務の円滑化により、利用者の受け皿を広げるとともに、利用ニーズの適切なマッチングを行うことができ、適切な範囲での利用者の増加につながった。現登録引率者数においては、利用者数の上限に近づいてきていると思われる。
- ・植生保護期（8/1～早期閉園日 10/13）における地上遊歩道の立入者数は 52,516 名（前年比 11% 減、前々年比 60% 増）であった。1 割の利用者減については、早期閉園が影響していると考えられる。
- ・制度期間中のヒグマ遭遇による地上遊歩道閉鎖は、ヒグマ活動期に 15 回（前年 13 回、うちツアー中止判断 3 回（前年 3 回））、植生保護期に 7 回（前年 6 回）あり、ヒグマ起因による地上遊歩道の終日閉鎖日は 0 日間（前年度 0 日間）であった。危険な遭遇事案は発生しなかった。
- ・知床五湖利用適正化計画が改定され、ヒグマ活動期において、適正な範囲での利用者の増枠（昼の時間帯を除き、ほぼ終日 10 分間隔でのツアー出発）と、6・7 月に限り限定的な 2 ルート併用（小ループの 10:00、12:00、14:00、16:00 出発を設定）という新制度の運用を開始したが、大きな混乱や支障は生じなかった。

## 2. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

▽第 21 回審査部会：平成 26 年 11 月 21 日

以下の議題について、情報共有・検討を行った。

- ・平成26年度シーズンオフの検討方針・スケジュールについて
- ・平成26年度利用調整地区制度の運用結果について
- ・平成26年度ヒグマ活動期運用状況及び各種調査結果について
- ・平成26年度登録引率者研修及び登録試験結果について
- ・知床五湖登録引率者審査部会の平成26年度会計報告について

## 3. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・平成 26 年 10 月 29 日に登録引率者試験（筆記試験）を実施し、32 名が受験して全員合格であった。その後、11 月 6 日に実地試験を実施し（免除者を除く）、5 名中 4 名が合格であった。平成 26 年度試験の最終的な合否結果は、32 名中 31 名が合格となった。

## 4. その他の事項

<登録引率者新規養成者の募集強化>

- ・ヒグマ活動期（5/10～7/31）における地上遊歩道の立入者数は、利用調整地区制度導入後着実に増加してきている。しかし、今年度の利用者の増枠や2ルート併用の導入に伴い、現登録引率者数の範囲内では、頭打ちに近い状況になっていると思われる。
- ・また、登録引率者数については、これまで毎年微増傾向（1～3人増／年）にあるが、将来的にみると現状維持か減少傾向になると考えられる。このため、登録引率者数の増加を図るために、来年度以降、新規養成者の募集強化を行う予定としている。

<くまレク見てトクキャンペーン>

- ・知床五湖の利用調整地区制度やえさやり禁止キャンペーンについて、町内外の観光関係者に幅広く認知いただくとともに、応援者になっていただくことを目的として、平成 26 年 8 月 1 日～10 月 20 日において、植生保護期の地上遊歩道利用者（立入認定者）を対象に、協賛店舗で立入認定証を提示すると特典サービスを受けられる「くまレク見てトクキャンペーン」を実施した。
- ・実施期間の立入認定者 52,517 人に対し、計 35 店舗における協賛店舗の特典の利用率は 6.9%（昨年 3.6%）であり、環境と観光がつながる仕掛けづくりとして大きな成果があった。